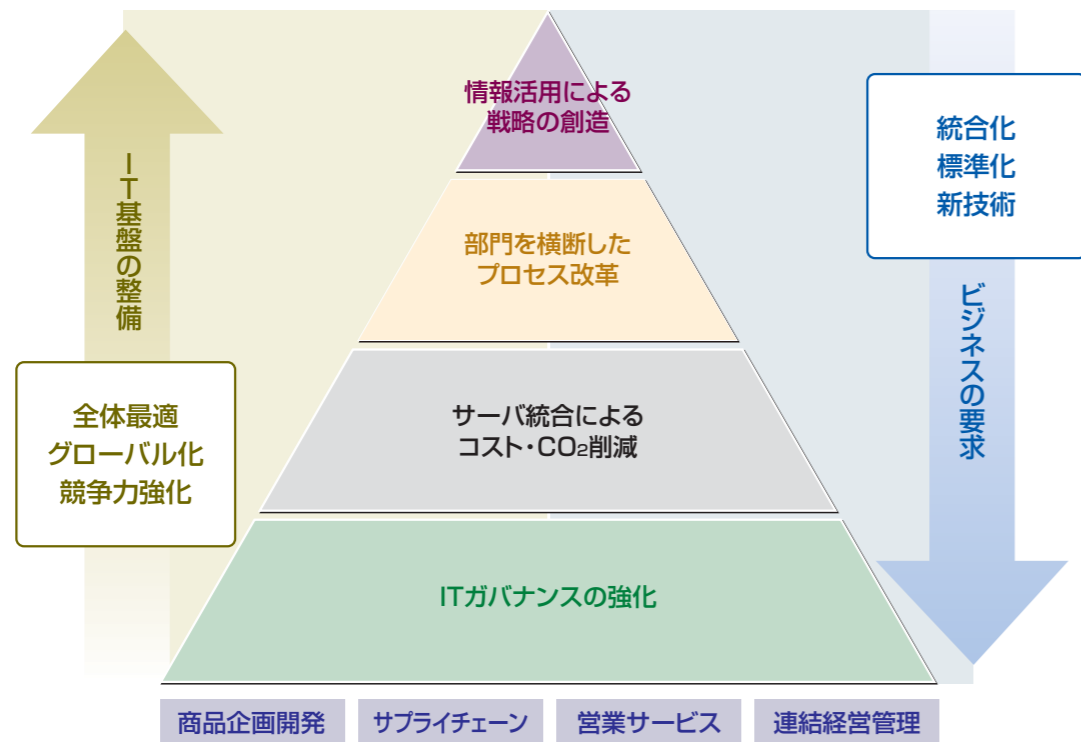


経営効率を高めるIT

企業体質強化に取り組むことは企業にとって最重要課題のひとつと考え、
“カシオのあるべきIT像”を全世界のグループ会社とも共有しながら全体最適なシステムを構築しています。



■情報活用による戦略の創造

カシオは、企業活動において発生する情報の戦略的活用を徹底的に進めることで、経営の効率化を進めてきました。全世界のカシオグループで発生するモノやお金の流れを迅速・正確に管理する基幹業務システムを構築し、グローバル経営を支えています。

これをさらに発展させ、経営戦略を立てるのに必要なさまざまな情報が、コックピットのようにリアルタイムで見える、経営情報システムの構築に取り組んでいます。購買・販売・会計などの情報に、事業計画を統合し、さらに市場動向などの社外情報をスピーディに取り込んで多面的に分析。現在の経営状況を把握するだけでなく、未来の動向をも予測し、先手の経営施策が打てる仕組みです。

■部門を横断したプロセス改革

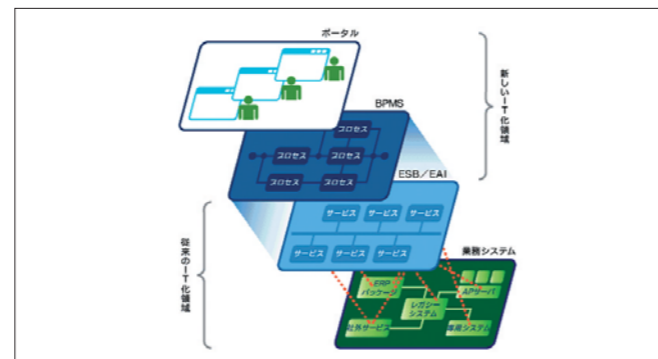
ITは、情報を集めて活用するだけでなく、情報の流れを整理し、業務の連携を見直すことで、ビジネスモデルやビジネスプロセスそのものを進化させていく働きがあります。

“サービス”と呼ばれるシステム機能部品を組み合わせながら新たな業務プロセスを構築するSOA (Service Oriented Architecture) やインターネット関連の新技术を積極的に導入し、部門や組織を超えた横断的なシステムを作ることで、効果的・効率的な営業活動支援、サプライチェーン連携を実現させています。

■ITガバナンスの強化

グループ全体のITインフラ統合、業務とシステムの標準化を推進していくためには、IT構築・運用に関するガバナンスの強化が必要不可欠です。カシオ計算機の業務開発部 (IT部門) とカシオ情報サービスは2008年2月、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格である「ISO/IE27001」の認証を取得しました。この取り組みを通じて、情報セキュリティ管理レベルの継続的な向上・維持、IT内部統制に必要なPDCAサイクルの確立を図ってきました。

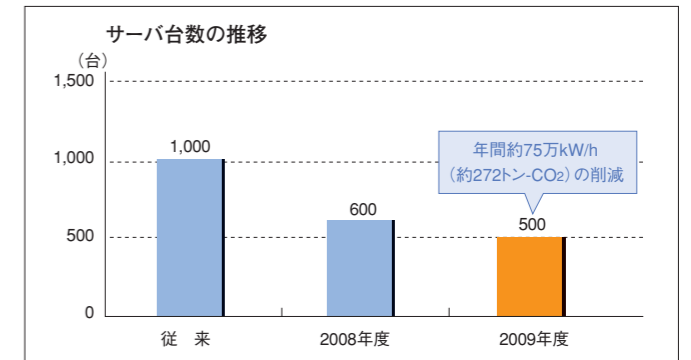
グループIT運営全体のガバナンス強化を図るとともに、経営に貢献するITを担っていくこれからのIT人材の育成を中期的な重点課題と位置付け組織力の強化を図っています。



■サーバ統合によるコスト・CO2削減

CO2削減につながる「グリーンIT」を推進しています。1台のサーバ上で複数台分を稼働させる「仮想化技術」を活用することで、サーバ台数を大きく減らし、電力消費を削減するとともに、サーバ導入コストの抑制と運用の集中化・効率化を果たしています。

2010年3月までに500台の統合が完了し、年間約75万kWの電力量を削減。これは約272トンのCO2削減にあたります。2010年度から2011年度にかけては、さらに200台規模を統合し、累計で年間105kWの電力量を削減する計画です。



最新のITで使いやすい企業サイトを構築

社会とのインターフェイスであるカシオホームページを2010年3月に全面リニューアル。アクセスを分析して、設計から全体を見直し、より使いやすい構造にしました。



サイトを支える最新システム

製品情報が収められたデータベースを構築し、動的にコンテンツを表示する最新技術を用いてWebサイトと連動させることによって、スペックなどの製品の情報を常に最新に保ち、変更があった際には、その製品の情報が複数のページが、同時に更新されます。また、各ページでの滞在時間などを計算する解析ツールを組み込み、常に使い勝手を見直しています。

使いやすさを徹底重視

デザインは白をベースにシンプルな表現を心掛け、わかりやすさを重視しました。また、導線設計を改善し、製品情報や問い合わせ先などを検索しやすく、お客様が知りたいと思う情報に迷わずにたどり着けるようにしました。リニューアル後、アクセス数は順調に増加しています。



カシオコミュニケーションプレイング
ウェブ統轄グループ
中津川 裕也

